

第3期

蓮田市地域福祉計画

概 要 版

ふれあいと笑顔、絆で創る
つながり 安心 生きるまち



令和5年3月

蓮田市

地域福祉とは

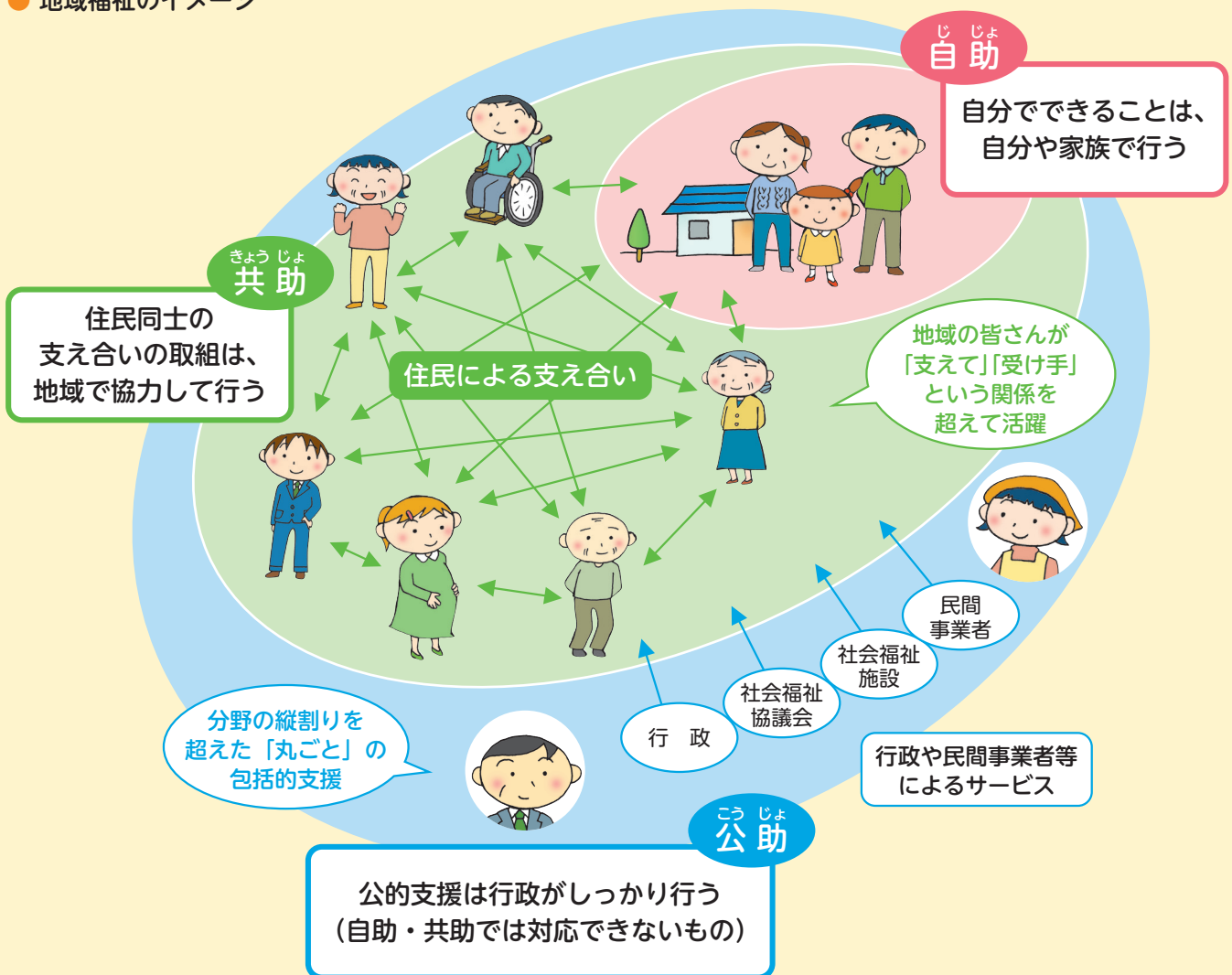
「地域福祉」とは、誰もが住み慣れた地域で、自分らしく生き生きと暮らしていくための地域づくりを行うことです。

地域に住む全ての人々が生活しやすい地域社会をつくるため、住民、ボランティア、NPO、事業者、行政、社会福祉協議会等が協力し、一体となってお互いに助け合い、支え合うことで、暮らしやすい地域づくりを実現しようというのが地域福祉の考え方です。

蓮田市の目指す「地域共生社会」

近年では、少子高齢化や核家族化の進行、価値観やライフスタイルの多様化などにより、生活課題の多様化・複雑化が社会問題となっています。こうした状況の中で、蓮田市では地域福祉計画の推進を通して、誰もが地域の中で役割をもち、支援の「支え手」「受け手」という関係を超えて活躍できる社会である「地域共生社会」の実現を目指します。

● 地域福祉のイメージ



どんな計画？

計画の目的

本計画は、蓮田市における地域共生社会の実現に向けて、「ふれあいと笑顔、絆で創る つながり 安心 活きるまち」を地域福祉の将来像と定めます。

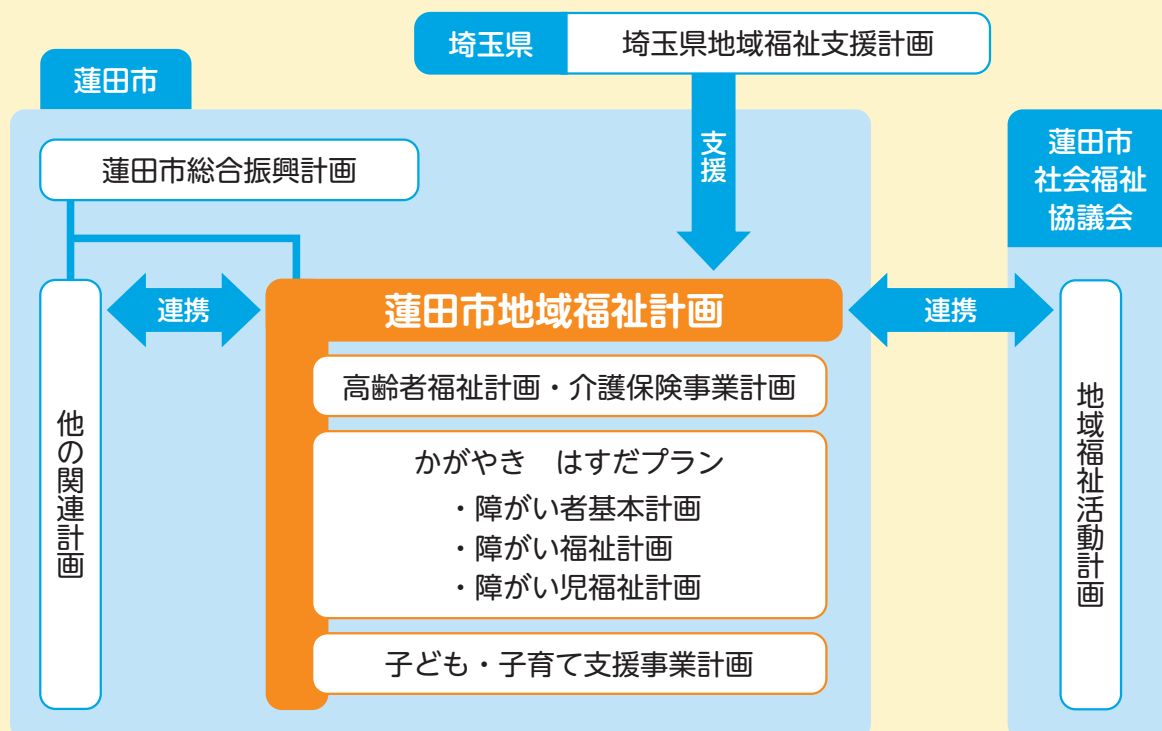
そして、この将来像を実現するために3つの基本目標（⇒5ページ）をはじめとする取組の方向性や、自助、共助、公助それぞれの役割を明記し、協働による地域福祉の推進を図ることを目的とします。

計画の位置づけ

本計画は、社会福祉法第107条の規定に基づき策定する市町村地域福祉計画です。

また、市の最上位計画である蓮田市総合振興計画と整合・連携を図るとともに、福祉分野における個別計画の上位計画として位置づけます。

● 計画の位置づけ



計画の期間

本計画の期間は、令和5年度から令和9年度までの5年間とします。

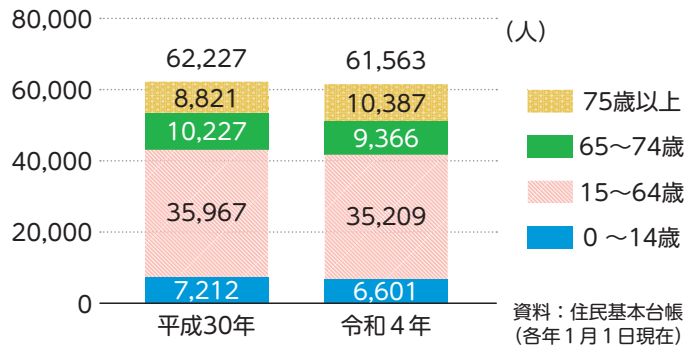
なお、社会情勢の変化や関連計画との整合を図るため、必要に応じて見直しを行うものとします。

蓮田市の現状

計画の策定にあたって、統計情報を整理するとともに、市民意識調査・団体ヒアリング・地域懇談会を実施し、地域の課題を把握しました。

統計より

0～14歳人口が減少する一方で、75歳以上の人口は増加しており、少子高齢化の進行がみられます。



アンケート調査より

地域活動やボランティア活動の取組状況

継続的に取り組む＋ たまに取り組む	新型コロナウイルス 流行の影響で休止
20.3%→18.6% (平成29年→令和3年)	3.9% (令和3年)

地域活動やボランティア活動の取組状況については、全体では5年前からあまり変化が無いですが、新型コロナウイルス流行の影響がみられます。



団体ヒアリング・地域懇談会より

団体活動における参加者の固定化や、運営メンバーの高齢化が課題となっています。

また、地域課題が複雑になる中で、気軽に相談できる仕組みの充実や、行けば誰かがいる地域の居場所づくりが必要だというご意見が挙げられています。



地域懇談会の様子

第3期計画は、こうした地域の課題を踏まえて、

- 高齢者の増加に伴いニーズが増加する成年後見制度利用促進の取組の充実
- 新型コロナウイルス流行の影響がある中での地域活動におけるデジタルの活用支援
- 地域課題が複雑化する中での、断らない相談支援の仕組みづくりや地域の居場所づくり

といった取組を新たに位置づけながら、右ページのような基本目標を設定しています。

地域福祉の将来像と基本目標

蓮田市の地域福祉をめぐる課題を踏まえ、本計画を推進するための指針となる地域福祉の将来像を、以下のように定めます。

ふれあいと笑顔、絆で創る
つながり 安心 活きるまち

計画の基本目標

地域福祉の将来像の実現に向け、本計画の基本目標を以下のように定めます。

基本目標Ⅰ みんなで支え、育む地域づくり

基本目標Ⅱ 助け合い、支え合い活動が活発な地域づくり

基本目標Ⅲ 安心して暮らせる地域づくり

SDGsの理念を踏まえた計画の推進

「持続可能な開発目標（SDGs）」とは、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けた、2030年を年限とする国際目標です。

本計画における基本目標や施策は、SDGsの17のゴールやターゲットに関連するものとして、経済・社会・環境を調和させながら「誰一人取り残さない社会」を目指すものです。



計画の内容

基本目標Ⅰ みんなで支え、育む地域づくり

地域のつながりの強化に向けて、一人ひとりが地域を身近なものとして意識し、子どもから高齢者までの幅広い市民が交流することができる、みんなで支え、育む地域を目指します。

そのため、地域における福祉教育や啓発活動を通じて福祉意識の醸成に努めるとともに、地域における日常的なつながりの充実に向けて、そのきっかけづくりとなる機会や、誰もが参加できる集いの場の提供、地域コミュニティを担う自治会等の活動の活性化を推進します。

自助



- ◆地域の中で顔を合わせる人とあいさつをする習慣を身に付けましょう。
- ◆市で開催される人権・福祉に関する講座等に参加しましょう。
- ◆地域との交流や趣味を通して、生きがいを持った生活を楽しみましょう。
- ◆健康体操等、地域の人と誘い合って積極的に取り組みましょう。
- ◆自治会等の加入の必要性やメリットを理解し、自発的に加入しましょう。
- ◆転入してきたばかりの人には自治会や蓮田市の魅力を発信しましょう。

共助



- ◆地域で福祉や人権について学ぶ機会を設けましょう。
- ◆学生等の若い世代を巻き込んだ交流イベントを行いましょう。
- ◆公共施設や地域の空きスペースを活用した交流の場づくりを進めましょう。
- ◆自治会等で手軽に体を動かせるスポーツの集いを開きましょう。
- ◆自治会等の活動内容について、積極的に情報を発信しましょう。
- ◆様々な事情により自治会活動に参加できなくなった人には、継続的なつながりが保てるようにしましょう。

公助

		主な取組
1. 思いやりの心を育みます	(1) 福祉意識・人権意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◆人権教育・啓発の推進 ◆児童・生徒に対する福祉教育の推進 ◆障がいや認知症等に対する理解の促進
2. 地域の絆を深めます	(1) 交流の機会の充実	◆世代間交流・障がい者の社会参加・民俗行事等の交流活動の促進
	(2) 地域の間づくりの推進	◆サロン・学校等を拠点とした場づくりの推進
	(3) 生きがい・健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆生涯学習機会の提供 ◆スポーツ・文化芸術活動の振興 ◆健康づくり事業の推進
3. お互いの顔がみえる地域をつくります	(1) 地域コミュニティの形成・活動促進	<ul style="list-style-type: none"> ◆自治会等への加入・活動支援 ◆子育て活動の促進

基本目標Ⅱ 助け合い、支え合い活動が活発な地域づくり

地域の課題解決力の強化に向けて、地域で暮らす様々な世代が、支援を必要とする方に積極的に働きかけ、必要に応じて必要な機関につなぐことができる、助け合い、支え合い活動の活性化を推進します。

そのため、ボランティア等地域の担い手となる人材育成に取り組むとともに、ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者、ひとり親家庭、生活困窮者等、支援を必要とする人等への積極的な見守り活動の推進や、防災・防犯体制の強化に取り組みます。

自助



- ◆ 仲間を誘って、ボランティア養成講座に参加しましょう。
- ◆ 地域で活動している団体やボランティア等の活動内容を知り、参加したい活動を見つけ参加しましょう。
- ◆ 自治会パトロール等を通じて、常に地域に目を向けましょう。
- ◆ 日頃から防災に対する関心を持ち、避難所の確認等、様々な情報を収集しましょう。
- ◆ 地域に積極的に向き合うなど、地域の防犯力を高めましょう。

共助



- ◆ 地域リーダーの養成講座等に関する情報を周知しましょう。
- ◆ 手助けを必要とする人や団体等にボランティアが紹介されるよう、ボランティアコーディネーターを活用しましょう。
- ◆ 地域の見守りネットワークをつくりましょう。
- ◆ 地域全体で協力し合い、地域の防災力や防犯力を高めましょう。

公助

		主な取組
1. 地域の未来を担う人を育て、地域活動を活発にします	(1) ボランティア・地域リーダーの育成	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 次世代の地域福祉を担う人材の育成 ◆ 専門的人材の養成 ◆ 蓮田市ボランティアセンターの充実
	(2) 地域活動・ボランティア活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ボランティア活動の促進・支援 ◆ 支えあいサービスの推進 ◆ 生活支援体制整備事業
2. 助け合い、支え合いの輪を広げます	(1) 見守りネットワークの充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域と学校の連携による子どもの見守り ◆ 高齢者等の見守り
3. 地域の安心・安全をみんなで支えます	(1) 防災体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域の防災ネットワークの確立 ◆ 避難行動要支援者への対策の充実 ◆ 災害ボランティアセンターの設置・運営
	(2) 防犯・交通安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 関係機関・団体によるパトロールの実施 ◆ 交通安全教育の推進・学習機会の提供

包括的な支援体制の構築に向けて、必要に応じて適切な支援を受けることができ、誰もが安心して暮らすことができる地域を目指します。

そのため、必要な情報を必要としている人に届けるための情報提供を充実するとともに、地域課題が複合化する中で気軽に相談ができるよう、総合的な相談体制の充実に取り組みます。また、生活困窮者への自立支援や権利擁護、再犯の防止等、多様化する福祉ニーズに対応できる福祉サービスの充実に努めます。さらに、地域とのつながりが希薄化している人を含めた、全ての市民が安心して生活でき、積極的に地域に出向くことができる生活環境やつながりづくりの仕組みを整備し、誰もが社会参加を通して地域で活躍できるまちづくりの推進に取り組みます。

自助



- ◆「広報はすだ」や地域の回覧板に目を通し、必要な情報の収集に努めましょう。
- ◆悩みごとや心配ごとを一人で抱え込まず、周囲の人に相談しましょう。
- ◆マナー意識を持ち、公共の場や道路が快適に利用できるよう心がけましょう。
- ◆何か困りごとがある時には、身近な地区の相談相手に話し、適切な相談先へとつないでもらいましょう。

共助



- ◆市や関係機関、団体等から出される情報を地域で共有し、情報を必要としている人に提供しましょう。
- ◆悩みごとを抱えている人が気軽に相談でき、かつ地域で様々なことについてみんなで話し合える環境づくりを行いましょ。
- ◆地域で対応できない相談については、市や関係機関の窓口を紹介し、支援につなげましょう。
- ◆成年後見制度やあんしんサポートねっと等の情報を提供しましょう。
- ◆身近な地区の生活課題を把握し、連携ネットワークへとつなぎましょう。

公助

		主な取組
1. 必要な情報を得られ、気軽に相談できる仕組みをつくります	(1) 情報提供の充実	◆子育て情報の提供 ◆高齢者や障がい者への情報提供体制の充実
	(2) 相談体制の充実	◆身近な地域における分野を問わない相談窓口の整備 ◆各分野における相談支援体制の充実
2. 利用しやすい福祉サービスの仕組みをつくります	(1) 権利擁護の推進 [蓮田市成年後見制度利用促進計画]	◆地域と連携した成年後見制度の利用促進に向けたネットワークの構築 ◆成年後見制度利用支援事業の円滑な運用
	(2) 福祉サービスの充実 [蓮田市再犯防止推進計画を含む]	◆生活困窮者への支援 ◆保護司、更生保護女性会等の更生保護関係団体への支援
	(3) 多機関による連携強化の推進	◆地域ケア会議の開催 ◆多機関の連携による子どもや生活困窮者等への支援
3. 誰もが活躍できる地域社会をつくります	(1) 快適で魅力あるまちづくりの推進	◆公共交通・施設等のバリアフリー化 ◆福祉車両の貸出
	(2) 課題を抱える方の社会参加支援の充実	◆身近な地域で地域活動に参加できる機会づくり